

精神科看護師の365日

平成25年度から取り組んでいる日精看のテーマ「365」にちなみ、全国のさまざまな施設で働く精神科看護師の日常を紹介します。

file.15

地域移行支援ナースの1日

医療法人寿栄会有馬高原病院 医療福祉部地域移行支援室長
岡本一郎さん(47歳・精神科看護歴24年・精神科認定看護師)の場合



精神科看護師になったきっかけ

学生時代の精神科実習で指導者に恵まれ、熱心に指導いただくなかで、精神科看護の奥深さに触れ、興味をもつようになりました。以来、精神科一筋で、現在の職場を含めて3つの単科病院に勤めてきました。いまの職場で3年の急性期病棟勤務を経て、慢性期の療養病棟に異動になり、退院支援に携わるようになり、5年前に退院調整領域の精神科認定看護師の資格を取得しました。

現在の仕事内容

昨年6月より地域移行支援室をとりまとめる立場として、病院全体の退院支援活動に取り組んでいます。病棟のリンクナースと連携するための会議を開催し、病院全体の退院支援システムを管理するほか、地域の事業所のピアサポーターの方々との連携も進めています。

岡本さんの

ある日のスケジュール

- 8:30 出勤
- 8:50 朝礼(管理者)
- 9:00 朝礼(地域移行支援室)、報告や連絡
- 9:15 入院患者の退院支援関連情報の収集とデータ入力
- 10:00 ケース相談、会議
- 11:30 病棟での退院支援活動
- 12:30 昼食休憩
- 13:30 地域連携の打ち合わせ、準備
- 14:00 退院準備プログラム
- 15:00 プログラムの振り返り
- 15:30 個別面談、記録
- 17:00 退勤

やりがいや励みになること

退院のサポートをさせていたいただいた患者さんが、入院中とはまったく違うイキイキとした表情で地域生活を楽しんでいる様子を知る機会があると、ここからうれしくなります。

今後の目標

より強化して取り組むべき課題は、急性期病棟における地域移行です。また、地域の事業者との連携や協働もますます積極的に進めていきたいと考えています。退院支援の成功モデルになれるように努めていきたいと思っています。